

経営学部 リフレクションペーパー

2011 年度 <後期>

教員氏名 大内 秀二郎
担当授業科目名 (曜日・時限) 流通企業戦略論Ⅱ (火曜 2 限), 流通システム論Ⅱ (金曜 3 限・6 限 [2 クラス開講])
1. アンケート結果に対する総評 各科目とも概ね高い評価であった。とりわけ流通企業戦略論Ⅱについては、「授業内容の理解度」、「説明の分かりやすさ」、「話し方の明瞭さ」、「板書や資料提示の明瞭さ」、「授業内容に対する関心の高さ」、「十分な授業準備」の各項目について平均値 4.5 以上、10 段階評価で平均値 9.0 という高い評価を得ることができた。ただし、この科目は有効回答数がわずか 20 (有効回収率 26.7%) であることにも留意したい。今回は、受講者の中で学習意欲の高い学生のみがアンケートに回答している可能性を否定し得ず、その分を割り引いてアンケート結果を捉えることが妥当であろう。
2. 授業を行う上で工夫した点、良かった点 流通システム論Ⅱ、流通企業戦略論Ⅱとも、新聞記事や映像などの資料も多く示しながら、理論と実践の両面から流通の全体像を理解できるように心がけた。特に流通企業戦略論Ⅱについては、流通業界の近年の動向を踏まえ、最新の事例をできるだけ収集し講義中に紹介した。また、抽象度の高い内容が多く含まれる流通システム論Ⅱでは、学生が疑問に感じやすい点をあらかじめ予想し、それを解消しながら講義をすすめるように工夫した。加えて、前期と同様、金曜 3 限クラスが 200 人を超えるクラス規模になり、健全な講義環境を保つことが困難になることが予想されたため、私語等に対する注意を積極的に行うように心がけた。
3. 今後の改善点 流通システム論Ⅱ、流通企業戦略論Ⅱとも、これまでの講義内容・方法を基本的には継続したい。「説明が分かりやすい」という好意的な意見が自由記述欄に多く見られるので、“例え話”を挙げながら説明する、受講者に疑問を投げかけて考えさせたうえで説明する、企業の具体的な事例を紹介する、などを、これまで通り心がけたい。 金曜 3 限クラスの流通システム論Ⅱでは、「人数が多いうるさい」、「教室が常に暑くて、不快だった」など、授業環境に起因する問題点を指摘するコメントがいくつかあった。このクラスは前期・後期とも履修登録者が 200 名を超えており、この傾向が次年度以降も続くようならば、時間割編成上の工夫もしくはクラス分割などの対策が必要である。 また、1. にも記したとおり、今回の授業評価アンケートは、例年と比べて各クラスとも有効回収率 (出席率) が低かったことにも留意したい。今後は、出席率を高めるための工夫についても検討したい。